



週報

2015～2016 年度 RI 会長 K.R. ラビンドラン
RI のテーマ 『世界へのプレゼントになろう』
第 2570 地区 ガバナー 高柳 育行

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン 〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@pl.s-cat.ne.jp
会長 江原伸夫 会長エレクト 佐藤圭司 副会長 浜野貴子 幹事 小島美恵子

〔第 3 グループ内の例会日〕 新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 1059 回(10 月 20 日)例会の記録

国際ロータリー第 2570 地区 高柳育行 ガバナー公式訪問



2015 年 10 月 20 日 於:狭山東武サロン

- 点 鐘 江原伸夫会長
- 合 唱 国歌斉唱 奉仕の理想
- 第 2 副 SAA 吉川君 吉松君
- ビジター 国際ロータリー第 2570 地区
ガバナー 高柳育行様
第 3 グループガバナー補佐
吉田譲二様(入間南 RC)
パストガバナー 加藤玄静様(本庄 RC)
地区研修委員会第 4G 研修委員
矢島淳一様(本庄 RC)



※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
36名	33名	91.17%	83.33%

会長の時間

江原会長



国際ロータリー第 2570 地区ガバナー高柳育行様、ようこそおいいただきました。我が狭山中央ロータリークラブで、高柳ガバナーの公式訪問が終了すると伺っておりましたので、私は非常に緊張しております。今日一日を通して、お気づきになられたことへのご指導ご助言を宜しくお願い致します。

まず初めに、会員の皆様に報告と御礼を申し上げます。恒例になっております、医療法人尚寿会で開かれますフリーマーケットには毎年協賛をし、参加もしておりますが、残念ながら今年は先週末の土曜日に雨が降り中止となりました。会員の皆様には当日に向けての品揃えのために多大なご協力をお願い致しましたし、またご協力も頂きました、おかげ様で品物の点数も相当数集まりました。残念ながら中止となってしまいましたので、賞味期限のあるもの等は別に致しましても、次の機会に出品できる品も多数ございますので、活用方法につきましては社会奉仕委員長と相談の上、後日報告を致したいと思っております。また、当日の後片付けにも数多くの会員の方に参加して頂きまして、つつがなく後処理も済みしました。心より感謝をしております、本当に有り難うございました。

先ほど小島幹事と私、高柳ガバナーそして吉田譲二ガバナー補佐と 4 人で面談の機会がございました。そのヒヤリングの席で、私どものロータリークラブの現状について色々とお話をさせて頂きました。当クラブはおかげ様で女性会員が 9 名となりまして非常に多いクラブだと思っております。

そしてまた今年度の集大成として、モンゴルの干ばつ対策が最終年となります。そうしたことについてお話をさせて頂きました。

市内の高校、そういうものに対しても色々とお話をさせて頂いておりまして、今年度につきまし

ては、やはり市内の少年野球についての協力もさせて頂きますというお話をさせて頂きました。

近隣の狭山ロータリークラブの件につきましても、若干お話をさせて頂きました。当クラブの在るべき方向性についても、自分達の今考えていることをお伝えさせて頂きました。

今年度の国際ロータリー会長ラビンドラン氏は、私たち個々の授けられた才能と力の限りをつくして、ご自身を世界へのプレゼントとして捧げて下さいと仰っております。そして本日お忙しい中おいで頂きました高柳育行ガバナーも、ロータリーの心を実践しようという地区テーマを挙げられました。ロータリー活動を通じていく中で、続けていく中で、自分自身の人生を豊かなものにしていく、そのことが結果として世界へのプレゼントとなるでしょうと述べられておられます。

私どものクラブの魅力の一つに、年齢、性別の垣根を越えた「友情と相互信頼の絆」があると私は思っております。平素からの活動を通じ、より多くの方々にその魅力に接して頂くことで、会員増強につなげていきたいと考えております。先ほど狭山ロータリークラブのお話を少しさせて頂きましたが、私どもと致しましては、やはり近隣に今までロータリアンとして長く活動されてきた方々ですので、もし当クラブの考え方にそって一緒に行動して頂けるのであれば、是非とも仲間に加わって頂きたいと思っております。そこは会員の皆様のご賛同を得た上で、お一人お一人に仲間に加わって頂けるように努力をしていきたいと思っておりますけれども、そのことにつきましては、やはりクラブの動きについて十分にご理解頂いた上で、皆様に加わって頂ければ非常に嬉しいと思っております。

今日は色々な面でたくさんの課題がございます。本日この後行われるクラブ協議会なのですが、主旨としては RLI 方式の討論会に挑戦させて頂きたいと思っております。しかしまだまだ私ども、RLI の研修セミナーに参加をし、それを十分に理解して下さっている方は少ないと思いますので、本日はあくまでもそれに挑戦という形で、形式的には全く同じものにはならないと思います。

しかしながら私たちの考えるロータリー、そし

てこれからどのように進めていくかということについて、議題を3点に絞りまして今日の討論会をさせていただきますと思います。

第1グループは「会員増強・退会防止について」、第2グループは少し幅広くなりますが、「ロータリー財団について」ということで、第3グループは「公共イメージ」について討論をして頂きたいと思っております。

当クラブはまだまだRLIにつきましては未熟なクラブですので、色々な疑問点が生じてくるかとは思いますが、是非ともその部分につきましても終わりました後にご指導、ご助言を頂きたいと思っております。何卒宜しくお願い致します。

幹事報告

小島幹事

(定例理事会) 次の件が審議・承認されました。

- (1) 11・12月プログラムについて。
- (2) 第3グループIMクラブ担当委員について。
- (3) 鬼怒川水害義援金について。

1. 2016~2017 年度地区ガバナー補佐エレクト・会長エレクト連絡会議のご案内について。

12月5日(土) 12:30 登録 国立女性教育会館

2. 第1ゾーン理事指名委員会による選出についてのご連絡について。

3. 井埜ガバナーエレクトより、次年度「井埜年度」

地区出向役員を継続する会員の氏名をご教示頂きたいとのご連絡について。

4. 地区社会奉仕部門委員長より、世界遺産キャラバン受け入れについて。

5. 日豪青年相互訪問団員候補者募集について

6. R財団月間・卓話者決定のお知らせについて
地区役員: 奨学学友委員会委員 茂木聡様(本庄RC)

7. 受贈会報 所沢西RC

8. 回覧物 ハイライトよねやま 187

「外来卓話」・・・・・・・・

国際ロータリー第2570地区

ガバナー 高柳育行様



皆さんこんにちは。

昨年は「Light Up Rotary」というテーマでございました。今年度は先ほどご紹介にもありましたように、「世界のプレゼントになろう」というテーマでございます。

今日は公式訪問という場に、皆さんご出席頂きましてありがとうございます。「友情と相互信頼の絆」というテーマを掲げられた江原会長さんのもとで、約3ヶ月半経過を致しました。先ほど会長、幹事さんと懇談をさせて頂いて、その内容については会長さんからご報告がございました。地区にも要望を頂きました。セミナーが多いというような話でございましたが、できるだけロータリーについて皆さんにご理解頂くという考えのもとで、それぞれの部門でセミナーを開く関係でどうしても回数が多くなってしまいます。特に年度がスタートしてしばらくの間、週末がセミナーづくしになってしまい、私も毎週毎週セミナーに出るという状況でございました。

このクラブはこれだけメンバーがいるから良いのですが、10人位のクラブになりますと一人で全部出る、特に会長、幹事さんが交替で出るというクラブもございまして、大変なのだろうと思っております。是非皆さんにはご都合のつく範囲でロータリーについて理解して頂くようにご参加頂きたいと、会長さんにお話致しました。我々入会金、会費を払えば会員には成れるわけですがロータリアンと

ということになりますと多少ロータリーについて理解を深める、或いは自己研鑽をして自分自身を高めるといった部分が必要なのだと思います。そうした意味では、地区のセミナーというものが、その場の一つということになるのではないかと思います。是非大変仕事が忙しい中、また個人的にも忙しい中、地区にご参加を頂く皆さんにご理解を頂きたいと思っております。

沼崎さんにも久しぶりにお会いしました。昨年度と言いますか、今年度にまで掛かるような状況でございましたが、ガバナー補佐ということで、大変ご尽力を頂きました。改めて御礼を申し上げますと思います。本当に沈痛で大変だったと思いますけれども、何かちょうどここに吉田さんが見えになって、上手く次に引き継いで頂きました。

吉田ガバナー補佐には今大変、私を支えて頂いているわけでございます。その報告をしながら、御礼とさせて頂きたいと思っております。

今年度特に力をいれております社会奉仕部門であります。このクラブには田中八束さんがいらっしゃいます。地区の社会奉仕部門、数日前にはブライダルのパーティーが開かれましたが、なんとなく上手くいきそうなカップルができたという話でございます。今後が楽しみだと思っております。そして来年になってしまいますが、春の交通安全週間に向けて、のぼり旗をつくらうということでご検討頂いている訳でありますけれども、そのお話も先ほど頂きました。このクラブから活躍されている方が、たくさんいらっしゃるわけですので、本当に感謝を申し上げたいと思っております。

宮野さんには米山奨学推進委員会の方でお手伝い頂いておりますし、職業奉仕の方では柴田さんにご協力を頂いているという状況でございます。この後開かれます協議会のことにつきまして、江原会長さんからご説明がありました。確かに地区で行っております RLI というセミナーがございまして、クラブ協議会でお願いしているのは、第一は皆さんに発言をして頂く場を作りたいということでありまして。形式がどうであれ、今日ご出席頂いてクラブ協議会にご参加頂いた方に、一言でも二言でもお話を頂きたい、自分の考えていることを、自分の思っていることを皆さんに披露して頂

きたい、そしてそれを聞いた皆さんには、そういう考えもあるのだろうと、賛成、反対があると思いますが、お互いの考えを尊重し、また周りの人の意見を大事にしながら、自分の考えを一度整理して頂く、そうしたことを繰り返しながら、この狭山中央ロータリークラブとして、今後クラブを運営していく上での一つの参考にして頂く、そんな場ができれば幸いだと思っております。従って忌憚のない意見を言って頂きたいと思っております。

先ほどお聞きしておりましたら、「ロータリー財団」というテーマがあるようでございます。私からはいくつかのテーマをお伝えしたのですが、それはできるだけ入って間もない会員にもお話頂けるようなテーマを出したつもりです。今回「ロータリー財団」ということになりますと、多少ロータリー財団についてご理解がないと、話の中に入っていけない方もいらっしゃるかと思います。しかし皆さんの色々な話を聞きながら、ちょっとしたことでも、何かあれば、それが今日皆さんにとってのプレゼントではないかと思います。

このクラブには9名の女性がいるということで、我が本庄ロータリーも女性の会員がおりますが、比率から致しますと本庄の方が負けてしまいます。吉田ガバナー補佐ともやはり女性がいますと雰囲気が違うと話しておりました。性別云々は言うべきではないのかもしれませんが、人口の半分は女性なわけですし、女性の持っている素晴らしさをクラブの運営、或いはクラブで取り組む事業の中で活かして頂く、そんなクラブの在り方をして頂きたいと思っております。

公式訪問ですので、多少ロータリーのことをお話させて頂きます。

今年度は RI 会長ラビンドラン氏が「世界のプレゼントになろう」というテーマを掲げられました。私も今年 1 月にサンディエゴに参りまして、国際協議会で勉強をしてきましたが、それから 10 か月程経過致しました。その中で、いくらか新しい情報もございましたので、それを皆さんにお伝えしたいと思っております。

一つはロータリーで最優先に取り組んでおります「ポリオ撲滅」でございます。今年 8 月に、ナイジェリアでの野生型ポリオウィルスの発生が 1

年間なかったという報告がされました。現在アフリカではナイジェリアだけが残っておりましてので、ナイジェリアでのポリオ撲滅が達成できますと、アフリカでのポリオ撲滅が実現できるということになります。WHO では 3 年間発生がありませんと、ポリオフリーという宣言をするわけですが、このポリオフリーの宣言が2年後でしょうか、なんとかそれが実現することを期待したいと思っております。しかしながら皆さんご存知のように、アフガニスタン、パキスタンの 2 か国ではまだ野生型ポリオの発生が認められております。大分発症数は少なくなっておりますけれども、まだ実際には発症しているという状況でございます。是非引き続き、ポリオ撲滅に対して、ご理解を頂ければと思います。恐らく事務局さんに筒が届いたと思うのですが、「END POLIO NOW」というポスターを 1 枚、各クラブに配布致しました。是非クラブの例会時にでも掲示頂き、「END POLIO NOW」ということに対しての皆さんの認識を続けて頂きたい、持って頂きたいと思っております。

そして明後日になりますが、地区大会が来年 3 月 26 日 27 日に開催されますが、春先にして雪でも降ってしまうと困るということで、早々と地区大会の記念チャリティーゴルフコンペを開催致します。このポリオ撲滅をテーマに開催する予定でございます。参加者にはポスターの色に近い T シャツをプレゼントしようかと思っております。T シャツを着て頂いて、写真が撮ればと思っておりますが、申し込んだ方は楽しみにご参加頂きたいと思っております。

RI で良く言われますのは「ポリオ撲滅」と「会員増強」、そしてもう一つ言うならば「財団への協力」といったところでございます。会員増強につきましては、会長さんの年度計画書を拝見致しましたら、純増 5 名という目標が書かれておりました。是非実現することを期待したいと思っております。特に女性会員の比率を上げたいということも書かれておりました。クラブ訪問致しますと、多くのクラブで「会員増強が課題だ」ということでお話されますが、このクラブはそんなに大きな悩みではないような気が致しました。しかし新しい仲間ができるということは、やはりロータリア

ンの魅力の大きなポイントを占めるのだと思います。私自身もロータリーに入って、様々な業種の方、或いはさまざまな価値観を持っている、色々な人生を歩んできた方、さらには自分の持っていない色々な趣味を持っている方、そんな方にお会いしてきて、その結果として今の私があるわけでございます。新会員を迎えるということは、皆さんお一人お一人にとって大きなプレゼントを得るきっかけ、機会になるのだらうと思っております。一人でも新しい会員を迎えられるように、期待しているところでございます。また会長さんや増強担当の委員長さんにお任せするだけではなく、皆さんお一人一人でご努力を頂きたいと思っております。

財団につきましては、当地区のことをご紹介したいと思っております。今年度地区奨学金候補生として佐々木さんという方、そしてグローバル補助金奨学金候補生として女性でハーモニーさんという方、それぞれ 1 名ずつを選考し、今オリエンテーションが始まっています。財団のセミナーにご出席頂いた方より、例会の中でセミナーの報告をされて、皆さんご存知かと思っております。そしてもう一つ大きな取り組みをしているのが、グローバル補助金を使ったブルキナファソという、アフリカの国であります。そこに人道的支援をしようということで、今申請をしております。まだ申請が通ったわけではありませんので確実にこの人道的支援ができるかどうかわかりませんが、数度、ここの所をもう少し直して下さい等のメールが既に届いておりますので、財団担当のメンバーが一生懸命それを、英文の質問書に回答を送っております。

皆さんの中でアフリカのブルキナファソという国をご存知の方はほとんどいらっしゃらないと思います。しかしその国にもロータリークラブがあるのです。相手の国にロータリークラブがなければ、このグローバル補助金を使った事業が出来ません。相手のブルキナファソという地区のあるクラブと、我が 2570 地区でお金を出し合い、人道的支援をするわけでありまして、名前も知らないような国にもロータリーがあるということだけを、皆さん御認識頂ければと思います。

この国は識字率が成人で 25%です。わかり易く言えば、読み書きができる人が 4 人に 1 人いない

という国であります。女性に限って言えば 20%になっていないという国です。しかしその人達であっても生活はできるのです。言葉ができなくても、何らかの形でコミュニケーションがとれる、私は今日皆さんの前でこのようにお話をして、多少なり原稿を書くわけですが、そうした国では、こうした文字すらわかる人が僅かしかおりません。そうした国に、言葉や文字を教える指導者を送る、或いは女性たちが自立できるように農業指導をして頂く方を派遣する、そして自分達でこれまでよりも生産性を高めて、生活が自立できるようにして頂く、今月は経済と地域社会の発展という月間であり、そして先月は基本的教育と識字率向上という月間でありました。ちょうどこの 2 つのテーマに関わる事業であります。是非皆さんに、このようなことをしているのだということをご理解頂ければと思いますが、その基になっている財団のお金というのが、皆さんから頂く財団への寄付でございます。この寄付が財団の奨学生の奨学金になったり、あるいはこうした人道的支援をするためのお金の基になるわけです。

米山も今年度、地区としては 18 名の学生さん、2 年目という方も今年初めてという方もいらっしゃいますが、お世話しております。そしてこのクラブではチョ・ウンへさんをお世話して頂いているということ。宮野さんがカウンセラーとしてお世話して頂いているということで、本当にありがとうございます。

もう一つ付け加えるならば青少年交換でございまして、青少年交換も今年度は 5 名を派遣するということです。まだ学校の関係で、年明けに派遣をするお子さんが一人いらっしゃいますが、既にブラジル、或いはベルギー等に派遣されている学生さんがおります。

皆さんの中で facebook をされている方はいらっしゃいますか？今青少年交換で行っている学生さん、ブラジルに行っている子が東君、ベルギーに行っている女の子が三上さんという方ですが、非常に頻繁に facebook で状況を送って頂いております。ホストファミリーと一緒に写真であったり、向こうに行ってできた友達との画像等を送って頂いておりますが、是非されている方は「いい

ね！」等何か少し送って頂けると、非常に元気を頂くのではないかと思います。

今週 10 月 23 日になります、世界ポリオデーというものがございます。ニューヨークで 23 日にユニセフと共同でイベントが開催されるそうです。皆さんのお手元にあるロータリーの友の 10 月号に、このことが記載されていたと思います。各地区で、或いは各クラブでこのポリオデーにちなんだイベントを行って下さいと書かれておりますが、先ほどご紹介致しましたように、我が 2570 地区と致しましては、明後日チャリティーゴルフコンペをこの END POLIO NOW というテーマで開催致します。是非ご理解頂ければと思います。

もう一つ RI 関係で御紹介を致しますと、10 月 1 日付でラビンドラン RI 会長は、2017 年 7 月 1 日から RI 会長になられる、今は会長ノミニーでございまして、イアンライズリーという方を発表されました。オーストラリアの方であります、なかなか RI 会長というのは遠い方でありまして、しかしこういう方が 2017 年 7 月から会長になるのだということをお紹介だけさせていただきます。

ラビンドラン RI 会長のことにつきましては、先ほど江原会長さんからもお話がございました。私が今日、皆さんにお伝えしたい一つの言葉は[恩送り]という言葉でございます。私たちは大勢の方の手助けがあって今がある、色々なものをこれまでプレゼントしてきた、頂いてきた、命を頂いたり、幸せな家庭を頂いたり、先ほどの識字率という視点から言えば、日本では十分、学ぼうとすれば学ぶ機会も与えて頂いております。そういった多くの様々なプレゼントを頂いた結果として、私もそうですが、皆さんそれぞれの何か仕事をなされて、そして収入を得て、今の生活をされているのだと思います。色々とお世話になっても、その方たちに全て恩返しをするわけではありませんし、恩返しができないことも間々あるのだと思います。小さい頃お世話になって、私のために一生懸命ご指導頂いた、例えば学校の先生であったり、しかしもう何十年もお会いしてなくて、あの時の先生が私のために色々してくれたことが有り難かったと思っても、恩返しが出来ないわけではありません。しかし今の私にとって世の中のために誰かの役に

立つことをするというので、その縁を頂いた方に恩返しができなくても、何か代りになる恩返しができるのではないかと、この考えが「恩送り」という事ではないかと思えます。

先ほど財団のことを紹介致しましたが、私たちが財団へ寄付をし、その寄付が財団の奨学生の奨学金になり、その奨学金で学んだ奨学生が世の中のために役に立つ、例えばこの 2570 地区で出ております平和フェローという、金子由佳さんという方がいらっしゃいますが、この方はガザというところで人道的支援をされているわけでありまして、その方が私たちに何か恩返しをしてくれているわけではありません。しかし私たちに代わって、大変な状況下にある、ガザに住んでいる方たちを一生懸命支援しているわけでありまして、これも一つの恩送りではないかと思えます。私たちが生きていく上で、必ずしも何かあったらすべて恩返しをしていくということが適切ではないかと思えません。しかしお世話になった方に恩返しをするような、そのような気持ちは大切にしなければならない、もしできなかったならば、何かその分を他の方に役立つことをしてあげる、そんな生き方ができたならばきっと人間として、或いはロータリアンとして素晴らしい人生を送れるのではないかと思っております。それを今日はお伝えしたい、これはロータリーの友 7 月号にラビンドランさんのメッセージの中に書かれていた一言でございます。そして私たちが広がろう、皆さんも地域のために色々なことをされているのだと思えますが、人助けだけではなく、人助けを通じて、私たちが成長していくという事も大切ではないかと思えます。そこから何かを学ぶということが大切なのではないかと思えます。

とかく地域のために何かしてやっているのだ、誰々のために何かしてやっているのだという気持ちになってしまうと、考え方としては非常に寂しいものではないかと思えます。是非そこから何かを学ぶ姿勢が大切なのではないかと思えます。

今年度 RI 会長が年度会長賞というものを作られました、各クラブを訪問致しますと、ロータリークラブセントラルに報告をして下さいとお願いしております。今朝プリントしてみましたらこの

クラブも報告がありましたと、まだ空白の所もございまして、是非実施されたことにつきまして引き続き報告を頂ければと思えますし、是非年度会長賞を頂けるようにご努力を頂きたいと思えます。

我が 2570 地区と致しましては、「ロータリーの心で実践しよう」というテーマを掲げました。なぜこのテーマを掲げたのだらうと思われるかもしれませんが、RI 会長が「世界のプレゼントになろう」というテーマを掲げて、そして地区は「ロータリーの心で実践しよう」、江原会長さんは「友情と相互信頼の絆」というテーマを掲げられましたが、私としては「世界のプレゼント」の世界という言葉がどうも気になりました。私たちの生活という中で一番身近なのは家族ではないでしょうか。家族があって、今私たちが普段生活できている、そうすると、世界のプレゼントになる前に、もっともっと前の段階として家族へのプレゼントになる、家族のことを思って何かする、家族のことを大切にすること、恐らく日頃皆さんはそうのように過ごされていると思えますが、そういった意味では、まずは家族へのプレゼントになろう、そしてこのロータリーという場では、クラブへのプレゼントになろうということ、皆さんどうでしょうか？思い当たることはないでしょうか？皆さんお一人一人がクラブへのプレゼントになる、この例会に出席するという、いかがでしょうか。

最初に会長、幹事さんにお会いした時に、昨日夜遅く、仕事が忙しくて例会に出られないという電話を頂きました等と言ったお話を伺いました。会長さんとしては一人でも多く、たくさんの方に出て頂いてこの公式訪問の例会を開きたいと思われていたと思えます。残念ながら色々な都合で来られない方もいらっしゃいますが、しかしそれはきっと皆さんができる一つのクラブへのプレゼント、クラブの例会に出席することと言えるのではないのでしょうか。或いは委員会活動、奉仕活動、ロータリアン同士の飲み会、親睦旅行に参加する、これがクラブへのプレゼントになると思えます。是非お一人一人にクラブへのプレゼントになって頂きたいと思えます。

そしてもう少し広げれば、地域へのプレゼント

ということもあるでしょう。地域のために色々と活動する、それこそロータリーが地域から、さすがロータリーだと思ってもらえる、その場を提供できるのだと思います。是非地域へのプレゼントになる、そういったものを通じて、この世界へのプレゼントになるということ、私のこの公式訪問の使命をいくつか挙げるのであれば、訪問したクラブが少しでも元気な良いクラブになるように、そして RI 会長の掲げられたテーマを、皆さんに理解し実践して頂く、それをお伝えするのが私の大きな役目だと思っておりますが、是非家族へのプレゼント、或いはクラブへのプレゼントになる、そして地域へのプレゼントにもなる、そして世界のプレゼントに皆さんがなられることをご期待したいと思っております。

今年度ガバナーを受けるにあたって、三つのお約束をさせて頂きました。一つは RI の掲げる戦略計画にそって活力あるクラブになるよう支援に努めるということ、二つ目は、謙虚で誠実、思いやりのある心で実践に努めるということ、三つ目が適切な地区運用と財務管理に努めるということです。戦略計画とは色々な所で述べられておりますので皆さんご存知だと思いますが、その中で優先項目として挙げられているのが、クラブのサポートと強化、人道的奉仕の重点化と増加、公共イメージと認知度の向上です。従って、あまり地区で何か事業をするというのは適切ではないのだと思いますが、少しでもクラブのサポートができればということで、先ほど回覧をして頂きましたが、**END POLIO NOW** のポスターを地区で印刷し、各クラブに配布致しました。そして恐らくそれと一緒にのぼり旗が届いていると思います。**ROTARY DAY** の下に狭山中央ロータリークラブと入っていると思いますが、それを全クラブにクラブ名を入れて配布致しました。これをクラブ単独で作るとなると大変なことになりますが、地区でまとめて作れば多少費用が安くできますので、このクラブで何か外にでていって事業をするときにはこののぼり旗を立てて頂き、周りの方にロータリーが活動しているということを理解して頂けるように、そうしたことに活用して頂きたいと思っております。

そして先ほど facebook のお話をさせて頂きましたが、2570 地区としての facebook を作っております。是非こちらも皆さんに見て頂きたいと思っております。私がここで facebook の話をいくらしても、見た事の無い人には全くイメージがつかないと思います。しかしされている方は簡単に色々なかたと交流が出来ているわけでありまして、先ほど青少年交換の学生のお話もしましたが、本当にホストと一緒に笑顔の画像が送られてくると、きっと楽しく過ごしてくれているのだろうと安心感がそれだけで伝わってきます。いくら文章で書いていても、文章では伝えきれない画像の良さがあります。facebook ではそれを送ることができるわけで、そしてそこに僅かなコメントを付けて頂けると、より理解が出来ると思います。是非このクラブで何かあったときには、画像とコメントを地区事務所に送って頂けると、それを地区の facebook に掲載できますので、ご活用頂きたいと思っております。私としてはできるだけ、今日あったことは今日のうちと思っているのですが、実は昨日公式訪問をした朝霞キャロットは今日の朝になってしまいました。しかし 1 日位の間には全て地区の facebook に載せております。

先週の土日は松本の方で開催されておりましたが 2600 地区の地区大会に行きまして、そのときの状況も載せてあります。是非各クラブからそういったものをご提供頂ければ 2570 地区としてどんな活動をしているのだ、他のクラブはどんな活動をしているのかということが、ご理解しやすくなると思います。皆さんがロータリーへの入会を勧めるときに、この 2570 地区の facebook を見せてご説明頂きたいと思っております。地区のセミナーであったり、他地区の活動もありますし、恩送りということも、この地区の facebook の最初に、ラビンドラン氏が動画でメッセージを送っているものが入っております。ロータリーについての多少の知識も、facebook から得ることができます。是非皆さんにご活用頂きたい、そして画像等を送る中でご協力も頂きたいと思っております。そういったものを通じて、活力あるクラブとなるように支援をしたいという部分を持って行きたいと思っております。

．．．．クラブ協議会．．．．

司会進行 江原会長

それでは、これよりクラブ協議会へ入らせて頂きます。皆様のご協力よろしくお願いを致します。

まず、第1グループ「会員増強・退会防止について」ということから進めて参りたいと思います。若松議長よろしくお願ひ致します。

第1グループ

【会員増強・退会防止について】

■若松議長

本年度の江原会長の方針で、会員増強は純増5名、うち女性2名を入れたいということですが、実績は0であります。そして実績0の他に退会者が2名出ておまして、大変厳しい年度となっております。なんとか今日の話し合ひで、良い結果に結びつけていければと考えておりますので、ご協力お願ひ致します。

それでは始めたいと思いますが、いきなり会員増強と言いましても、言葉が広がりすぎると思いますので、なぜロータリーを知ったのか、入会してどうだったのかという所まで掘り下げて、皆さんの意見を聞けたらと思っております。

最初に、私はこの方の仕事を非常に尊敬しており、入会して頂いて良かったと思っております。一番新しい入会の方ということで、小林さんの意見を宜しくお願ひ致します。



【小林会員】

入会して1年が経ちました。会員の田中さんからご紹介頂いて、私は毎週田中さんに会えればよいな、毎週お会いしたい方なので、会えたら嬉

しいなということが一番でした。そして入会したところが皆さん懐が深く大きい方ばかりで、本当に快く温かく受け入れて頂いて、ここの段にいるのがとても自然な気持ちであります。入会させて頂いて有り難いと思っております。私の仕事は成年後見という仕事ですが、判断能力のない方等に、後見人としてどうしたら幸せになって頂けるかということを考え、色々なことを実行しております。私そのような仕事をしているのですが、ここの場に伺いますとほっとして肩の力が抜け、とても良い感じです。本当に有り難く思っております。

■若松議長

次に、再度入会して頂きました東さん、入会して良かったことやここを改善するとさらに良くなるといった話を聞かせて頂ければと思います。

【東 会員】

私はこのクラブ、出戻りです。最初の入会は2002-2003年度で、その後しばらくロータリー活動をさせて頂いた後、妊娠して子供を出産するあたりからしばらく休会させて頂いて、その後私と夫が交替する形で夫がお世話になり、今年2015-2016年度の新入会員という形で再び復帰させて頂きました。私元々狭山の出身ではなく、父が前田病院という病院を今から38年前に興しましたが、私や母、妹は皆東京の家で暮しておりましたのでこの辺のことはあまり詳しくありませんでした。実際に父の後を継ぐようになってからこちらに来て、病院と家を往復するだけで、狭山という自分が仕事をさせて頂いているこの土地のことがほとんどわかりませんでした。そんな中ロータリーに入り会員の皆さんとお話する中で、狭山、入間ってこういう場所なのだ、こういう人たちがいるのだといった、昔のこと、会員の皆さんの子供時代、小学校、中学校、高校の話をお聞きしますと、こういうことがある、こういう町なのだという理解、これが私にとってロータリーに入会させて頂いて一番良かった点です。自分が仕事をさせて頂いている地域を理解する上で非常にロータリーは有り難く、とても意味があったともいえます。

またここを改善するとさらに良くなると思われ

ることはということですが、具体的にはあまり思いつかず、ここは何か問題があると良く変えていこうと皆さん考えて下さると思います。例えば私先ほど子供を出産したと申しましたが、私が一番初めに入った2002年度の段階では、ヘビースモーカーの方もいらっやあって、お食事の後、例会場で煙草をたしなむ方が非常に多かったのですが、しかし妊娠した私がいるということで、皆さんが自発的に、「会長、例会場を禁煙にしましょう」と提案をして下さいました。そして全会一致で禁煙にして下さいました。

常に新しいことは取り入れていく、それがあられる限りどんどん改善されていく、そのような体質があると思っております。そのためここを改善するとさらに良くなると言わなくても、私たちのロータリーとは、恐らく自分達で常に良くしていこうというそういう土壌がもともとある方たちの集まりなのだと思います。

■若松議長

我々の活動はなかなか皆さんに伝わっていないこともあるのですが、その辺の話も含めて益子さんの考えをお聞かせください。

【益子会員】

私もロータリーの活動にはわりと参加をさせて頂いている自負はあるのですが、自分のクラブだけで完結してしまっている事業が多いと思いますので、それを地域で活かして、もっと他の団体や学校等、合同で色々奉仕活動を行って行けば良いのではないかと思っております。

■若松議長

続きまして、私のロータリーの師匠でもあるのですが、よくロータリークラブとライオンズクラブの違い等を質問されることがあるのですが、坂本さん宜しくお願い致します。

【坂本会員】

ロータリークラブとライオンズクラブの違いは、まずは例会がロータリーは毎週、月4回開催されますが、ライオンズクラブは月2回でございます。そしてアクトの方法ですが、ロータリークラブは一般的に金銭アクト、ライオンズクラブは労力アクトと言われております。また会費も、ロータリーの方が倍くらいかなという感覚でおります。

その他一般論として、ロータリーの退会防止等についてお話させて頂きますと、皆様もご承知の通り、ポールハリス氏や4人によって、1905年2月23日にシカゴロータリーが設立され、ロータリークラブも110年余りが経ちました。1921年に設立された東京ロータリークラブは、現在は320名あまりの会員数がおられますが、地域的に企業数及び人口密度の関係もあると思われませんが、日本のロータリークラブは、2015年7月末日でクラブ数2278、会員数は88,000人余りで、1対クラブの平均会員数は38名であり、我が狭山中央ロータリークラブの会員数は36名で、平均的なロータリークラブだと思います。例会は点鐘で始まり、点鐘で終わります。これは良いと思いますが、その一過性がマンネリ化になり、活力を失っているのかと思います。

年度毎の運営に当たる会長をはじめ執行役員さんの方針もさることながら、一人一人の会員がクラブライフに対し、魅力を持てるような、またその魅力が公に一基団結を感じ与えられるような気持ちでロータリー活動を日々行っていくことが、会員増強にも繋がるし、退会防止にもなるのではないかと私は思います。

■若松議長

次に小幡さん、お隣の親クラブであります狭山ロータリークラブはここで解散をされました。退会者も出ておりますが、その辺のことに對して何かお考えあったらお聞かせ下さい。

【小幡会員】

狭山中央クラブができたのは1993年で、子として22年目を迎えます。狭山中央クラブができたときに13名がこちらに移ってきました。どちらかと言いますと年配者の方が狭山クラブに残ったもので、その方たちが年々歳を迎えてどんどん退会するようになったもので、残った方がついに6人になってしまったということです。

若い方が3名、年配者が3名残ったということ、この方々にどのように声をかけていくかということですが、先ほど会長は皆様の賛同を得て、狭山クラブのメンバーを入会に誘いたいということでしたので、それは非常に良いことではないかと思っております。私も知っている方が何人かおりますので、

手分けして誘ってみたいと思いますが、何しろ皆ロータリークラブが長いベテランの方ですので、誘えば意外に早いという方もいるかもしれませんし、年配の方々は入りたいけれどこれは年齢との勝負だということで、非常に難しい問題もあるのではないかと思います。

■若松議長

小幡先生は一番実績もある方なので、何とかお願い致します。

最長老の一人であります小澤さんに、ロータリーの会員増強等についての戦略等があったら是非ご教授頂きたいと思います。

【小澤会員】

ロータリーでは毎年「会員増強」という命題が強調されます。そこで、R L I 方式に基づく本日の討論会をチャンスに、私が現時点で「会員増強を果たすための手段」と考えていることを申し上げさせていただきます。

この度、2570 地区に於ける会員の分布状況を改めて調べ直して見ました。その結果、会員の多数の方々は所沢・川越・熊谷など活況溢れる主要都市に存在するロータリークラブに集中して入会されている現況が把握されました。狭山市はこれらの諸都市に比べ多方面で地盤沈下を来しているとお配りした資料でご確認頂けるかと存じます。

まず、2570 地区の主要都市の人口と農業・工業・商業を比較致しますと、27 年 9 月末現在の人口は、所沢市が 34 万人・川越市が 35 万人・熊谷市が 20 万人・狭山市が 15 万 4 千人となっています。そして、商工業等に関する資料は古いものしかありませんが、工業の企業数は、所沢市が 261・川越市が 486・熊谷市が 310、それに対して狭山市は 183 です。唯、売上出荷額で見ると狭山は他市に比べ桁違いな額(1 兆 7 千億円)を示しています。これは大手企業の現地工場等が数多く展開されている結果であり、対外的な決定権を付与されることが少ないこれらの現業を対象に増強活動を展開しても、結果は期待できないと考えられます。また、小売業を除く商業者数について見ますと、所沢市が 2270・川越市が 2661・熊谷市が 2393、これに対して狭山市は 1177 と店舗数が少ないばかりか、売上額も所沢市 4622 億円・川越市 7420 億

円・熊谷市 7838 億円に比べ、狭山市の売上額は 2307 億円に過ぎません。

ところで、2570 地区の「会員報告」に依りますと、第 3 グループの平成 27 年 8 月末現在の会員総数は 378 名ですが、このグループの都市別の会員数とグループに占める会員の割合を計算しました。その結果、所沢市は 5 クラブ(所沢・新所沢・所沢西・所沢東・所沢中央)で構成され、会員数は 183 名で同グループ会員数の 48.4%を占めています。また、会員総数 317 名の第 1 グループに属する川越市は 4 クラブ(川越・川越小江戸・川越西・川越中央)で構成され、会員数は 153 名で同グループ会員総数の 48.2%を占めています。更に、会員総数 358 名の第 5 グループに属する熊谷市は 5 クラブ(熊谷・熊谷西・熊谷東・熊谷籠原・熊谷南)で構成され、会員数は 175 名で同グループ会員総数の実に 48.9%にも達している状況であります。

これらの都市は、いずれも交通の利便性や伝統などの利点を生かしながら商工業や観光などの開発を進めている首都圏内の「勢いがある都市」であり、その都市環境も増強活動の活発な推進と相俟って、多くの方々が会員になられる要因の一つではないかと思います。

これに対して第 3 グループに属する狭山市の場合は、往時に比べ商業等の衰退や伝統的な催しもの等に関する多面的な機能や魅力が衰退しており、高齢化問題も含め新会員を掘り起こすことが難しい環境下におかれています。また、原因は判別できませんがクラブの解散や短期間に会員が激減するなどの事態も生じており、この結果 2 クラブ(新狭山・狭山中央)合計の会員数は僅か 47 名に過ぎず、グループ会員総数の僅か 12%という状況におかれています。

では、このような事態にどう対応したら良いかということになりますが、実はロータリーがどんな団体で、どの様な活動をしているのかを知らない企業経営者や市民の方々が意外に多数おられるのが現状です。そこで私見ではありますが、今迄は主として会員の知り合いやその繋がりによる増強活動を主体にしていましたが、これからは「国際ロータリーとロータリークラブの概要と奉仕活動の内容・入会金と年会費などの項目に絞ったコ

コンパクトで且つ分かり易いパンフレット」を作成し、これを商工会議所会員・青年会議所OB・諸団体或いは自クラブ及び市内他クラブの既退会者とその後継者などをターゲットにして配布し、併せて「クラブ公共イメージ」と連携してケーブルテレビやSNSを媒体に「ロータリー情報」を流すなどの方法を主体にした増強活動へ切り替えることが望ましく、予算などの制約や様々な課題はあるものの、その手法が増強効果をもたらすためには最適ではないか、と思っています。

2570 地区における主要都市の
農業・工業・商業の統計数値比較表

区分	所沢	川越	熊谷	狭山
H27年9月末 現在の総人口	343293	350047	200745	150000
H22年の農 家数(30a・売 上50万円以 上の戸数)	1747	3273	4717	1088
H24年の工 業事業所(従 事者4人以上)	261	486	310	183
同年の製造品 出荷額等(万 円)	14,983,733	89,955,999	90,811,235	107,388,663
H19年の商 業事業所数	2270	2661	2393	1177
同年の年間商 品販売額(万 円)小売?	46,228,900	74,208,200	78,380,700	23,079,700

■若松議長

次に女性会員の増強ということで、浜野さんにご意見をお願いしたいと思います。

【浜野会員】

私も宮野さんに紹介して頂いて、もう10年以上になりますが、あまり深く考えないで入った記憶がございます。そのため入ってすぐに色々な方とお話をさせて頂いて楽しくて、娘からも「お母さんロータリーに行く時はとても楽しそうだね」と言

われますので、やはり楽しいということが長く続けられる一つの大きな要因ではないかと思えます。私が入会したときは入会金が高かったのですが、今はそれとかなり垣根が低くなっておりまして、まだ私は誰も紹介しておりませんので、気楽に声をかけていきたいと思っております。

■若松議長

次に佐藤さん、女性会員を説得するのに何か良いアイデアがあったら聞かせて下さい。

【佐藤会員】

とにかく当クラブの美女軍団9名の存在は、他クラブにない非常に良い人材です。アピールのポイントとして、美女軍団の美女には拘らずに、心と団結のハーモニーと言いますか、皆にうるおいを与えているとっても雰囲気の良い女性軍団だということを、是非アピールしたいと思っております。それで入って頂けないかと思っております。

■若松議長

最後になりましたが、退会防止も大きな目標の一つでございまして、片山さん、退会防止の何か秘策がありましたら、お話を願います。

【片山会員】

私が入会したのが2001年7月です。ちょうど14年過ぎたのですが、そのときに3名、小幡先生に誘われて入りました。その勧誘の方法とは、退会防止とは少し関係ないのですが、彼が入ると言ったら片山さんどうか、そして向うに行けば片山さんが入ったらどうか、とそういう感じの話でした。それも良いことではないかと思えます。一人では少し入りにくいなと思ったのですが、3人一度に入るのならば良いだろうと、3人一緒に入りました。

調べましたところ、私が入会してから16名退会者がでております。その中には2名程亡くなった方もおられますが、14名は退会致しました。

私も退会防止とは考えたことがないのですが、実際今まで辞めた方の雰囲気をみますと、こちらにきて何となく打ち解けにくい人も数人おりました。後は仕事の都合や色々な面で辞めた方がほとんどですが、入れるのも難しいけれども退会を止めるのも難しいと思えます。なぜかといいますと、辞めようと思うと何を言ってもダメなのです。

私も相談を受けて辞めない方がいいと言ったことは無いのですが、辞めちゃえばと簡単に言ったことはあります。そうするとかえって留まっています。あまりしつこく止めると、何か下心があるのではないかと思われてしまうのです。その辺を良く考えて、退会防止については、相手の気持ちたちがどういう気持ちになっているのかということを取って確かめてから、退会が止むを得ない等の言葉を使った方が私は良いのではないかと思います。

16名中2名が亡くなり、14名が退会したということは本当にもったいないと思うのですが、止むを得ないと思います。

■若松議長

貴重な意見をたくさん頂いていたら時間が少しオーバーしてしまいましたが、今日の意見を書記の稲見さんと一度後日まとめて、また披露する機会があると思います。ありがとうございました。

江原会長

続いて、第2グループ「ロータリー財団について」、柴田議長よろしくお願ひ致します。

第2グループ

【ロータリー財団について】

■柴田議長

ロータリー財団ということで、私ども非常に日常のクラブ活動では縁が薄いと言いますか、そうした問題に対して今日のテーマになっておりますので、出来るだけ具体的な、私どもがクラブで行ってきたことをお話して、既に資料をお渡ししておりますが、それを見ながらお話していきたいと思ひます。



ロータリー財団とは聞き苦しいものですが、まず仕組みをざっとお話致します。私どもの年会費で、昨年も今年もそうだったと思いますが28,200円ほど地区に上納しております。その他にロータリー財団のほうに上半期50ドル、下半期50ドルの100ドル、これを年次寄付と言っております。そして使途指定の基金、恒久資金と3つありますが、財源の大部分は皆さんが上納しているお金でございます。それが3年後、例えば地区からロータリー財団へ送ったものを100としたら、50は返ってきます。そして返ってきた50がグローバル補助金、地区補助金と2つに分かれ、実質的には25%が地区で使われるお金だと思ひて下さい。

私どもの実績で言いますと、今から4年前にマッチンググラントという補助金を申請致しました。これは今行っておりません。しかしだいたいグローバル補助金と似ております。相手の国のロータリークラブとタイアップして事を進めていくという点では全く同じだと私は理解しております。

私どもは最初に、マッチンググラントでわからないまま走ったのですが、知恵のある方も私たちのクラブにおりましたので、なんとか申請が通りました。それが3万ドル未満だったのですが、1万100何ドルで承認がとれまして、3年前から実施に踏み切ることができました。その事業名は、「モンゴルへの植樹、干ばつ防止整備事業」です。今年が3年目、最後の年度になっております。

モンゴルはフレロータリークラブというところをある人の紹介で対応致しまして、私共のクラブが援助国、向こうが実施国という形で、お金を現地に財団から送って頂いて、そして植樹の費用に充てているということでございます。来年の6月には、最後の年度ですので確認を込めて行ってみたいと思ひております。それが一つ目の大きな補助金の事業でした。

次に、昨年稲見年度では青少年の育成事業ということで、県の学務課と相談した結果、県は寄付をすると何かと縛りがあるということで、それでは良く分かっている人を訪ねていこうとなり、結局は狭山市内の県立4学校に、クラブに使う用具の寄付をしようという方針に定まりました。昨年は4校に対して、地区の補助金は2000ドルであり

ましたが、2000ドルでは到底間に合いませんので、私共のクラブからもお金を捻出致しまして、寄贈を行いました。狭山工業高校、緑陽高校、青陵高校、経済高校の4校でございます。

最後に今年度になります、今年度も地区補助金1000ドルを申請致しまして、通っております。これはリトルシニアの野球に頑張っておられるチームがありますので、野球の道具を贈るということで事を進めております。

そんなことで、財団については非常に難しいので、私一応ざっと説明を致しました。私は今年度で財団の委員長が終りますので、皆さんで自分達が委員をするときにはどうしようかという点について、意見と今後の継続云々の話をして頂きたいと思っております。

【吉松会員】

柴田さんの前に財団委員長をしておりました。モンゴルを記憶しまして、最初の年度に行きまして、2回行ききましたのでしょうか、3回目4回目は柴田さんに行っていました。

柴田さんがお話しした通りの財団の動きで、私からは何もいうことはございません。色々財団はやってみると面白いものですので、是非皆さん参加して頂きたいと思っております。

【宮野会員】

これは自分達で出していると言いながら、他所から頂くお金です。私の娘は自分で食べる時には非常に安い物、お金を出すときには非常に安い物の食べているのですが、私と行く時にはその店で一番高い物を頼みます。

是非他所から頂いたお金ですから大盤振る舞いで、良いことに使えたらと頭をひねって考えて、次は財団に何か提案をして大盤振る舞いをできるような企画を出したいと思っております。

【肥沼会員】

私は今日これを見て、ああそうなのかという状態なので、わかりません。これから少しずつ理解できたら良いと思っておりますので、教えて頂ければ頑張ります。宜しくお願い致します。

【栗原(憲)会員】

2年前の会長の時に、モンゴルに初めて行ってきてまして、マッチンググラウンドでフレロータリーク

ラブの方たちとモンゴルの草原や植樹の現場を見てきました。これまであまり外国に行ったことがないので、大変感激を致しました。

ロータリーの活動を広げるためには、こうした財団のお金を使っていければと思います。また今年度はモンゴル植樹の最終年度ですので、私国際奉仕委員長をしておりますので、皆さん参加して頂きたいと思っております。

【松浦会員】

青少年のために力を貸すということはとても良いことだと思うのですが、恵まれない日本の子供たちにも、そのような補助が出来たら良いと考えました。

【守屋会員】

皆さん使い方のお話をなさっている方がほとんどでしたが、ところがこれはお金がなければ話にならないのですが、今我がクラブで年間どのくらいお金を集めておられるのでしょうか。

一人ずつ集めるのは問題ないと思うのですが、毎年千ドルずつ出すのはどのくらいの目標でなされているのでしょうか。クラブとして今年はどうなのでしょう。私いつも思うのですが、私の時代は始まって1年、2年の時でしたので、今ここで問題になっているような、補助金を使って行う実際の奉仕が全くできませんでした。もっぱら集めることばかりでした。最初は物珍しく、新しく委員長になった人はまず、私が千ドル出すからと2~3人ずつ出しておりました。

そしてもう一つお伺いしたいのですが、財団補助金について、関連性があるのですか？上納金が少なければ、クラブに対するお金も少ないのでしょうか。そうしますと、多少自己犠牲で出しているお金が少なくなると、それもだんだん細くなってしまおうということでしょうか。

最近お金を集める話が全く聞こえてきませんので、お金も確保していかないといけないと思えます。いずれにしましてもお金がないとできないことでして、その辺の問題も今度やって頂きたいと思っております。

江原会長

最後の、第3グループ「公共イメージについて」ということで、栗原(成)議長お願い致します。

第3グループ

【公共イメージについて】



■栗原(成)議長

公共イメージも私2年連続で行っておりますが、特に狭山ケーブルテレビを中心にロータリーの活動をしてきました。しかしどうもいまいち、ロータリーの活動が市民に理解されない、浸透していないということがありまして、全体的にロータリーをほとんど知らない人が多いということで、今日は視点を換え、他の分野からこの公共イメージにリンクできないかということを考えてみました。それは米山記念奨学生のことをございます。これにつきましてこのグループで討議をして、最後に米山が公共イメージにどうつながるのか、或いは公共イメージが米山にどうリンクするのかというような方向を見いだせれば良いと思います。一つだけ米山で報告をしておきますが、この点について皆さんの意見を聞きたいのですが、まずこの豆辞典によりますと、韓国・中国の学生が圧倒的に多い、学生は720人位を今奨学生として認めている、720人の学生に対して約15億円のお金が使われている、これは我々の寄付金です。その辺を加味しながら米山の話を進めていきたいと思えます。

【田中(八)会員】

地区の役員をさせて頂いております。公共イメージということに関しまして、私が初めて耳にしましたのは2011年の大震災の後の会議で、その時に初めて、特に震災絡みで、非常にロータリーの

公共性というものが取り上げられました。

社会奉仕と致しましても公共性についていつも、またロータリー全般の活動も公共性のイメージに基づいて行われるようになってきましたが、栗原さんもお話したように、ロータリー単独で活動致しましてもなかなか浸透致しません。

ロータリーが色々活動するときには必ず、地域社会ということをまず考慮して頂いて、例えば学校、交通安全等、地域社会の活動をロータリーも一緒になって行くと、非常に認めて頂けます。実は社会奉仕も以前こちらのクラブのご協力を頂きまして、日光街道の杉並木の植樹を加藤玄静さんのご指導で行いました。この時もやはり地域社会ということで、学校、地域を全て伴いまして事業を行い、イメージの浸透を図っておりました。

こちらのクラブで活動する時も、地域社会ということを是非考慮して頂きたいと思えます。

【田中(隆)会員】

公共性というお話ですが、私ロータリーに入りました2年位ですが、ロータリーのことを知人、友人にまずお話しするときに、ロータリーとは何なのということをよく聞かれます。ロータリーというのは世界で一番大きな組織だと言いますが、それは何のメリットがあるのかという質問が非常に多く、年会費や、週に1回皆さんと顔合わせをして、それぞれの業種、或いは利害関係のない皆さんとの集まりなのだと説明するのですが、その中で数名の方には同調して頂けますが、約半数はメリットがないのになぜそんなと言われて困ります。その辺は誤魔化しております。

■栗原(成)議長

園部さんも入会して2年目ですが、私の方から園部さんに一つ話をお願いします。

日本人のためにある補助金制度というものは聞いたことがありますか。

先ほどグローバル補助金の話が出ましたが、この米山奨学は日本人にはダメだという話は聞いたことがありますか。

それについて園部さんの意見をお願い致します。

【園部会員】

日本人のためにあっても良いとは思いますが、ロータリーはインターナショナルというテイスト

な考えでいけば、他国から受け入れるということで、自国以外というものが良いと思います。

今ロータリーの友 10月号をみているのですが、寄付金が日本だけで年間 14 億円という、かなりの巨額な金額となっております。これは相当な金額だと思いました。私たちのベーシックな考えは、困った人に手を差し伸べるということですが、寄付をするならば静かに寄付をすれば、それで私たちの目的はほぼ達成すると思います。

公共イメージという言葉が最近聞きました。それと会員増強ということも含まれて、ある意味戦略的に社会に向けて、こんなことをしているのだというアピールも必要なのではないかとたった今感じました。

■栗原(成)議長

それでは沼崎パストガバナー補佐、お願い致します。

【沼崎会員】

ロータリークラブの活動の中で、やはり米山奨学金の制度とは、公共イメージ、アピールするのにとても役立つ内容だと思っております。それともう一つ、もともとの主旨が米山梅吉さんという人の意志に基づいて、亡くなってからですが、それで始まった事業であるということもお分かりだと思います。日本の近隣、或いは世界中の色々な人たち、学生に日本に来て学んで頂く為のシステムだということもご存知だと思います。

しかし世の中も、このスタートの時から大分変わってきております。私たちはこうして、他所の国に対して奉仕するという趣旨で始まりましたが、よく国内をみると、驚いたことに日本の国内にも貧困で困っている、それで子供たちが教育の場を受けられない、さらにもっと酷いことに健康にも恵まれない、そうしたことがあることに気が付いています。

そうしたことも含めて、これからこのシステムをどうしようかということが、今日の議題の中の議論にあっても良いと思いますので、これも一つご意見の中に入れて頂いたら良いと思います。私は是非あってほしいと考えております。

■栗原(成)議長

続きまして小島さん、先ほど少し申し上げましたが、圧倒的に韓国、中国の学生さんが多く、今も私共は韓国の学生さんを支援しておりますが、韓国、中国の学生さんが多いという点についてどうお考えになりますか。

【小島会員】

学生を選ぶ時点で、どのような選び方がなされているのかということが、いまいち会員には届かないところかと思えます。確実に中国、韓国の学生さん、もちろんお迎えすると一人一人可愛いお子さんでいらっしゃるし、援助をすることは全く問題ないと思うのですが、全世界ということにもう少し平等に途上国を選抜してきたらよいと思えます。

■栗原(成)議長

続きまして清水さんには、今小島さんが途上国の奨学生についてお話になれましたが、東南アジアあたりは比較的少ない、これから中国から東南アジアの方に行くのではないかとされておりますが、この点に関して奨学生、どのように考えたらよろしいでしょうか。

【清水会員】

私は入って約 2 年ですが、中に入るのと外から見るとでは距離がありすぎる、やはりロータリーとは別世界みたいな感じで見えておりましたので、何をしているのか等イメージが一般の方にはわからないと思います。そうした意味では、こういう所もやっている、日本人もやっている等、色々アピールをし、告知することでわかってもらえると、新しいロータリーに対するイメージアップにつながるし会員の増強や色々なところに繋がると思えます。

■栗原(成)議長

佐々木さん、今自由に討議してきたことに対して、ご自分の考えをお願い致します。

【佐々木会員】

米山奨学生のごことで、日本の学生には奨学金が出ないのかというイメージで話が進んでおりますが、私所沢簡易裁判所の司法委員というものをしておりますが、だいたい月に 1~2 回裁判所に出しております。

日本の学生で奨学金を受けて大学を出たという方が、社会に出てから返済するのに困っているという話を良くニュースで聞くとありますが、実際裁判になって学生援護会から奨学金を返済しないということで訴えられているというケースが非常に多いのです。本当にまじめに返そうと思い、社会で仕事もしているのですが、しかし借りたお金に対して初め通り返していくのが厳しいということで返しておらず、裁判をされて、その中で返済方法をどうしていくかということ話し合っ和解除していくということが非常に増えている現実をみると、そうしたところに手を差し伸べることができないのかということが、正直な感想です。

■栗原(成)議長

最後に古谷さんお願い致します。特に今佐々木さんが申しあげました、日本の若者の貧困率が高くなっている、そうしたことも踏まえてご意見があれば伺いたいと思います。

【古谷会員】

先程話題に出ておりますが、私今年度米山委員長をさせて頂いております、色々調べてみると700名以上の生徒に15億円、それもほとんど中国、韓国に偏っているということで、もっと偏らずに公平な選抜方法はないのかと思いました。たまたま子供の貧困の把握を急げということが9/23読売新聞に出ておまして、日本の子供の6人に1人が世界的に貧困だということです。貧困は海外ばかりではなく日本の中にも現実的には増えてきているというお話があちこちで出てきております。また福島原発以来、災害で親を喪った子供たちや家を失った子供たちもたくさんいるわけです。そのような中で、日本の子供たちにもそのような手を差し伸べられないかと思いました。

■栗原(成)議長

私がこのテーマを選んだ理由は、ロータリーをもう少し表舞台に出すために、市民や国の人たちはロータリーとはどうせ金持ちの道楽で暇がある人たちだと言う方が多いので、それを払拭するためにはやはり海外も大切だけれども日本の貧しい子供たち、困った人々を救うべきでないかというために取り上げました。これが上手くいけば大手のマスコミが必ず取り上げてくる、そうした気

運にしていきたいということからこのテーマを取り上げました。

今日は貴重な意見をありがとうございました。

ガバナー総評

皆さんにはクラブ協議会ということで、色々ご協議を頂きありがとうございました。私の感じているところをお話させて頂きたいと思います。

最初の会員増強の所で、「毎週会えたら良いな」と言われた方がいらっしゃいました。本当にこんなクラブであつたら素晴らしいのだろうと思いました。



皆さんがお互いに、今日例会にでると誰々さんに会える、これが例会に出てくる一つのポイントではないかと聞いていて感じました。お互いにそんなことが思えたのであれば、例会、なんとか都合をつけて出席頂けるのではないかと思います。また小澤さんから大変詳しい資料を頂きました。ロータリアンは1000人に1人くらいが目安ではないかと以前聞いたことがございます。実は本庄市は今8万人を切っておりますが、本庄市のロータリアンは100人です。そういった面から比べますとこの頂いた資料、本庄が多いのかこの地域が少ないのか、その辺は皆さんの判断に任せたいと思いますが、本庄という場所で見れば、そんな割合でございます。

財団の部分で意外だと思いましたが、お金を集めるということをお話を頂きました。本来ガバナーがRIから言われることは、会員増強とお金集めであります。あえて先ほどの卓話の中では触れず、ご協力を頂きたいという言葉にとどめましたが、代りにそんなお話をさせて頂いたのは、私とし

ては有り難いと思ったところでございます。

一つ皆さんにご紹介したいのは、「ポールハリスソサエティ」というものがございます。これは毎年 1000 ドルの寄付を協力するというものでございます。是非ご意志のある方にご協力頂きたいと思っておりますし、もう一つはロータリーカードをお持ちの方はいらっしゃいますか？手数料がかからない安いものでございます。

先週土曜日、地区大会がありまして松本の某ホテルに泊まったのですが、支払いをこのカードで致しました。そうしますと、カードのポイントに相当する部分が、ロータリー財団への寄付ということになります。是非こうしたカードもあるということで、ご認識頂ければと思います。どうも財団と言いますと寄付、寄付という話になりますが、こうしたものでも皆さんにご協力頂けるのだということをご理解頂ければと思います。そして是非日本人の奨学生というお話がございました。財団の方でも、財団の奨学生を募集しております。なかなかハードルが高いのでありますが、日本の学生さんで外国の修士や博士課程を目指している方に対して、財団の奨学生というものがございます。

先ほどご紹介致しましたが、地区財団補助金奨学生というものが一つ、そしてもう一つがグローバル補助金奨学生、これは 6 つの重点分野に関わるものを学ぶということになります。この財団の奨学生も、実は後で奨学金を返済するという義務はございません。このクラブ、この地区で優秀な学生さん、今年度我が 2570 地区では、地区財団の奨学候補生として 1 名、グローバル補助金の奨学候補生として 1 名、各 1 名ずつと先ほどご紹介致しましたが、年間にすると約 300 万円位の奨学金が頂けるものでございます。是非それも、このクラブでご推薦を頂ければと思います。

公共イメージのお話をされて、私としては少し意外な展開だったと思えました。最初の切り口が、韓国、中国が圧倒的に多いという話からスタートしましたが、今 2570 地区の米山奨学生、だいたい韓国が 1/3、中国が 1/3、その他の国が 1/3 という割合だということです。是非それをこのクラブでお話頂きたいと思っております。

中国、韓国に一辺倒になっているという状況では

少なくともないと思っております。しかしこの間ある新聞だったと思うのですが、ハーバードか何かで中国の学生が 500 名以上いるのに、日本の学生は十数名しかいないということが載っていました。世界のレベルで見ていったときに、如何に中国の学生さん達が優秀で、しかもそういう世界に出ていくかということだと思っております。

財団の奨学生は募集しても本当に数名しか出てこず、しかも男性はほとんどおらず、女性の学生が多いです。今年の青少年交換は 6 名おりますが、女性 5 名、男性 1 名です。財団の奨学生は 2 名で、2 人とも女性という状況です。そういった色々な日本の世の中の傾向が、女性が積極的で男性が消極的なのか、一昨日ブライダルのセミナーがありましたが、男性がおとなしく、ほとんど話をしないというお話を聞きました。従ってこういった部分でも、我々が何か関わることで、世の中の状況を変える機会が出来るのではないかと思います。

最後のお話の中にありましたが、ロータリーの何かあり方を変えたならば、日本の子供達を助けるようなロータリーのあり方に変えたら、ロータリーに対する意識が変わるのではないかと思います。これは、非常に素晴らしい考えだと思えました。何か機会があったら、それはお伝えしたいと思えました。

日本全体と地区の状況とは多少違っている面もございまして、是非そうしたこともご理解頂ければと思います。

最後までご協力頂きましてありがとうございます。





江原君 国際ロータリー第 2570 地区、ガバナー高柳育行様ようこそおいで下さいました。今日一日ご指導の程よろしくお願い致します。第 3 グループガバナー補佐吉田譲二様、先週はご指導ありがとうございました。加藤玄静パストガバナー、矢島淳一地区研修委員、本日はよろしくお願い致します。

小島君 第 2570 地区ガバナー高柳育行様、ガバナー補佐吉田譲二様、パストガバナー加藤玄静様、地区研修委員会第 4G 委員矢島淳一様ようこそおいで頂きました。ご指導よろしくお願い致します。

浜野君 国際ロータリー第 2570 地区、ガバナー高柳育行様、第 3 グループガバナー補佐吉田譲二様、パストガバナー加藤玄静様、

地区研修委員会第 4G 委員矢島淳一様ようこそいらっしゃいました。本日はご指導よろしくお願い致します。

稲見君 国際ロータリー第 2570 地区高柳育行ガバナー、御指導よろしくお願い致します。

栗原(成)君 フリーマーケットは残念でした。高柳ガバナー本日はよろしくお願い致します。

益子君 高柳ガバナー、吉田ガバナー補佐、加藤パストガバナー、矢島地区研修委員、本日はようこそいらっしゃいました。ご指導のほど、よろしくお願い致します。

沼崎君 高柳ガバナー、公式訪問有難うございます。本日はよろしくお願い申し上げます。

小幡君 高柳育行ガバナーはじめ多数の 2570 地区役員の皆様ようこそおいで下さいました。本日はご指導よろしくお願い致します。

奥富君 高柳ガバナー様、ご指導の程よろしくお願い致します。

佐藤君 国際ロータリー第 2570 地区、ガバナー高柳育行様、ガバナー補佐吉田譲二様、パストガバナー加藤玄静様、地区研修委員矢島淳一様ようこそお越し下さいました。

本日はよろしくご指導の程お願い申し上げます。

田中(八)君 高柳ガバナーようこそお越しいただきました。

狭山中央 RC 美女軍団

高柳ガバナー、加藤パストガバナー、矢島地

区研修委員、吉田第 3 グループガバナー補佐、本日はようこそおいでいただきました。

入念に化粧をしてみましたが、この程度でございます。ご指導よろしくお願い致します。

※ 次の例会

第二副 SAA 稲見君 石川君

11月17日(火)

12:30~13:30

奨学学友委員会 委員 茂木 聡様(本庄 R)



世界へのプレゼントになろう